

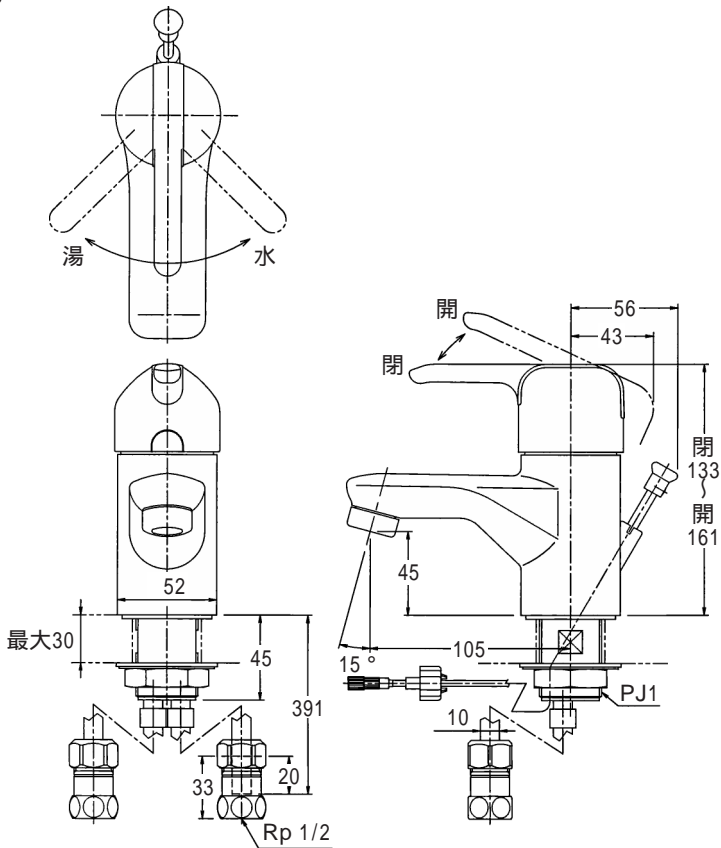
INAX エクセドールシリーズ

LF-3340S
LF-3340SC
シングルレバー混合水栓

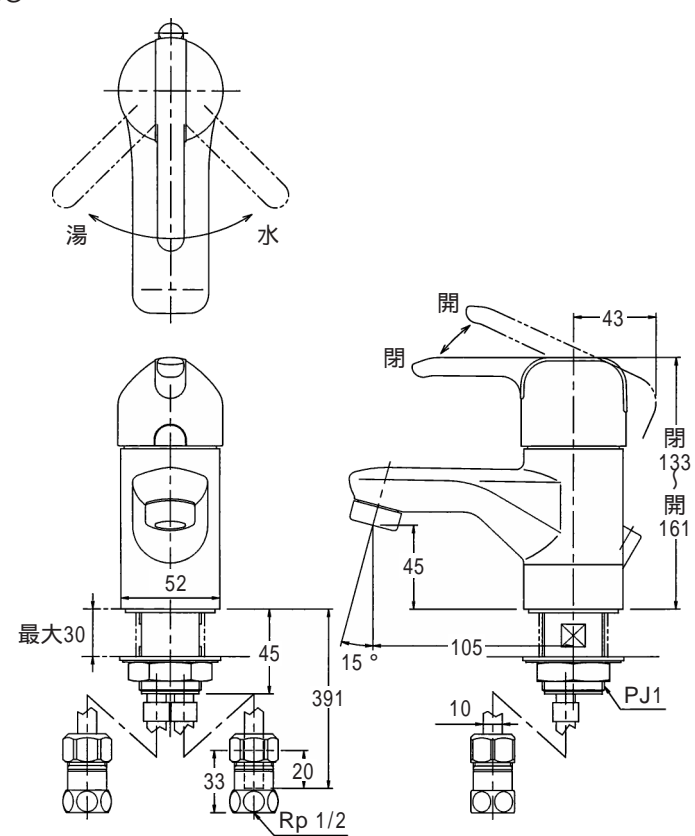
商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書を同梱
の「ご愛用フォルダー」に入れてお
客さまにお渡しください。

商品図

LF-3340S



LF-3340SC



カウンター穴あけ寸法は 36 ± 2で行ってください。カウンター厚は、最大 30mm。

安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

△ 注 意

湯水を逆に配管しないでください。

水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。



使用条件

給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。

〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕

給水圧力 { 最低必要圧力..... A + 0.05MPa{ 0.5kgf/cm² }
最高圧力..... 0.75MPa{ 7.6kgf/cm² } }

Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

●測定条件

レバーハンドルは全開です。

ガス給湯器との組み合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度 5℃、吐出温度 42℃)によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力..... 0.05MPa{ 0.5kgf/cm² }
最高圧力..... 0.75MPa{ 7.6kgf/cm² } }

●温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。

給水圧力が 0.75MPa{ 7.6kgf/cm² }を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力(0.20MPa{ 2kgf/cm² }程度)に減圧してください。

給湯に蒸気は使用できません。

施工前のご注意

給水は上水道に接続してください。

温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

逆配管では表示通りに湯が出ません。

給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。

取付けに必要な専用工具(KG-9)を用意してください。

商品の表面には、直接工具を掛けしないでください。

工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。

開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。

取付け後の保守点検のために必ず止水栓(別売)を設けてください。

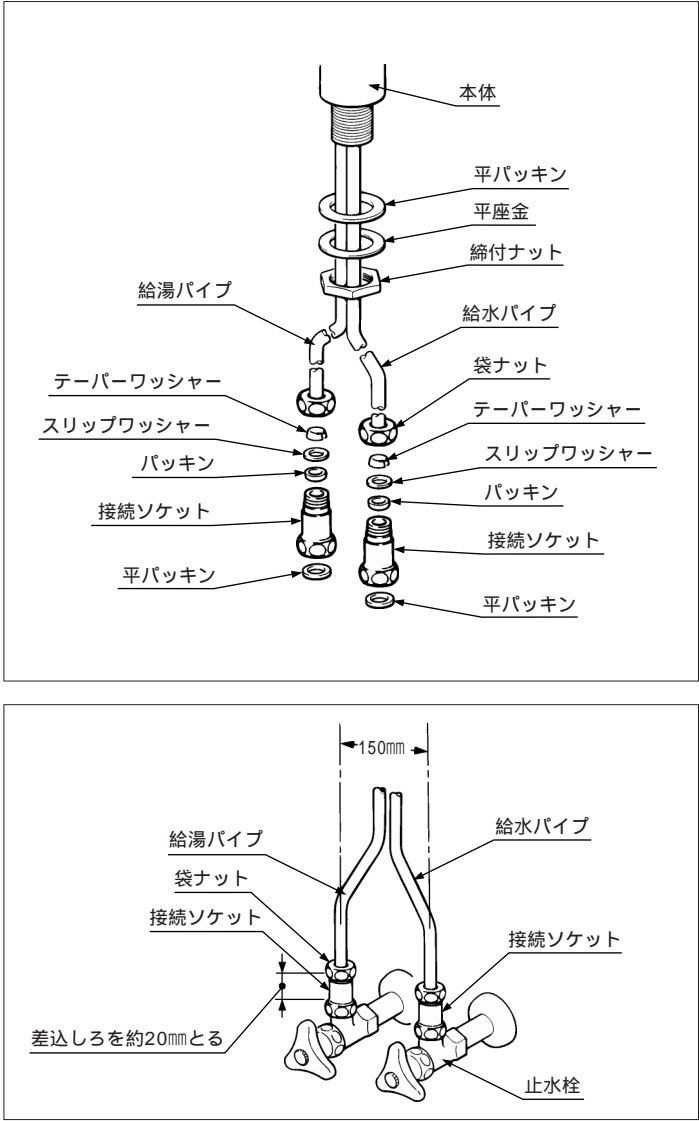
必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

給水・給湯パイプ抜け防止のために、接続する給水・給湯配管は確実に壁または床に固定してください。

施工方法

以下の手順で正しく取り付けてください。

1. 本体を正面に向けて平パッキン・平座金・締付ナットの順に仮固定します。



2. 給水・給湯用止水栓の位置を考慮して給水・給湯パイプを広げます。
このとき差し込む直管部をできるだけ長くしてください。
3. 接続ソケットを止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの接続ソケットへの差ししろ（約20mm）を確保して、給水・給湯パイプを切断します。
4. 給水・給湯パイプを接続ソケットに差し込んでから締付ナットで本体を固定します。
本体の固定には別売の専用工具（KG-9）を使用し、しっかりと締め付けてください。
レバーハンドルを持って締め付けしないでください。破損の恐れがあります。
5. 給水・給湯パイプを差し込んだまま接続ソケットを止水栓に固定します。
6. 給水・給湯パイプを押し込み袋ナットを手締め後、工具で強く締め付け（約1回転）ます。
7. レリーズと排水金具を接続します。
プッシュワンウェイ式排水金具に同梱の施工説明書をご覧ください。

施工後の調節

流量調節

水栓の機能を十分に発揮させるため、水圧が0.20MPa(2kgf/cm²)を超える場合は湯と水の流量がほぼ同じになるように、水側の止水栓を絞ってください。

引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

この商品は、水を急に止めるときに発生する配管への衝撃をやわらげる機能が付いています。

このため急に閉めようとするとハンドルが重く感じるがありますが故障ではありません。

ハンドルが重くならないように、ゆっくりと閉めてください。

故障と点検

点検箇所は下図を参照してください。

故 障	点 検 内 容	点検箇所	処 置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか？		止水栓を十分開く。
	整流網のゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。
	ゆるみはないか？	③	カートリッジ押えを締める。 締め過ぎるとレバーハンドルが重くなる ことがありますので注意してください。
希望の温度が 得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	止水栓の調節は適切か？		「流量調節」の項参照。
	整流網のゴミ詰まりはないか？	①	ゴミを水で洗い流す。
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	④	ねじをしっかりと締める。

